

## プログラム

1日目：2月3日（土） 12時30分～17時  
 12:00 12:30 13:00 14:15 14:30 17:00 18:00 20:30

受付	オープニング	全体会①	移動	分科会①	移動	交流会
----	--------	------	----	------	----	-----

### 全体会① 基調講演 「社協に求められる“本気”」

講師：全国コミュニティライフサポートセンター 理事長 池田昌弘さん

「我が事・丸ごと地域共生社会の実現」という新たな地域福祉のビジョンのもと、今や政策として地域の支え合いを推進する時代になりました。一方で、地域の暮らしはまぎれもなく住民自身のものであり、自由で豊かな取り組みが広がっています。「地域共生社会」とは何なのか。地域で孤立や排除を生まない、互いに支え・支えられる地域をつくるとはどういうことなのか。地域福祉実践の現場から考えていくことが大切なのではないでしょうか。

全国津々浦々の地域実践を見つめ応援してきた池田さんに、全国の社協ワーカーに求める役割について、時に厳しく、時に期待を込めて、語っていただきます！

2日目：2月4日（日） 9時～15時

8:45 9:00 12:00 13:00 14:45 15:00

集合	分科会②	昼食	全体会②	エンディング
----	------	----	------	--------

### 全体会② 「“本気”の社協とは」

パネリスト：各分科会担当者・発題者・ゲスト等 コーディネーター：(奈良県社協)前坂良彦さん

各分科会の企画者やコーディネーターなどの登壇により、2日間に渡る分科会で議論した内容を参加者全員で再確認し、様々な切り口から語られた“本気”の共通項について整理します。

## 分科会

### 第1分科会 新人ワーカー集まれ！

～チームワークって大切！

“シカト”  
鹿と”しないでね！～

「チームワークって大切だ」って言われますが、普段意識していない人も多いのではないでしょうか。「そもそも本当に大切な？」そんなあなたは、是非この分科会へ！

今回は大学の心理学部の先生をお招きし、参加者同士の深く楽しい交流を通して、自分を見つめ直したり、他者理解を深めながら、チームワークの大切さを実感できる内容になっています。

奈良でシカできない体験を是非！！

☆講師 帝塚山大学

心理学部教授 水野邦夫さん

2日目には実際に奈良のまちに出てフィールドワークを行います！  
(当日の天候により変更あり)



※対象：社協入職3年未満の新人ワーカー

### 第2分科会 「地域共生社会」の本質を考える！

～地域福祉実践のジレンマから出発しよう～

地域福祉の大きなうねりのなか、わたしたちは、めざす「共生社会」の本質をあらためて考える時期にあります。

日々の実践には、当事者の地域生活を支援しきれなかったり、住民や専門職の想いを調整しきれず連携や協働がすすまなかった等、多くのジレンマがあります。社協ワーカーとして抱えるジレンマを出発点に、「当事者・住民・専門職」が共に力を合わせながら進める「一人ひとりを大切にしたい地域共生社会」づくりの第一歩を考えていきましょう。

☆発題 奈良実行委員メンバー

☆ゲスト 西宮市社協 常務理事 清水明彦さん

☆ファシリテーター 奈良県社協 岡本晴子さん

※悩める地域支援ワーカー・個別支援ワーカー大募集！

### 第3分科会 社協の“本気”の総合相談を、徹底追究！

～総合相談を社協の地域福祉戦略に活かすプロジェクト～

社協はこれまで「総合相談」の看板を掲げてきましたが、本当に胸をはって「総合相談」を実践していると言えるでしょうか。事業や制度のジャッジワーカーになっていませんか。この分科会では、様々な部署や担当で、相談支援に従事している社協ワーカーが集い、語り合い、学びあうことで、「社協の総合相談」を深めます。また、総合相談を社協全体の風土・文化に高め、地域福祉の推進に活かすための具体的な戦略について考えます。「もっと総合相談を面白くする」—そんなことを、私たちと一緒に考えませんか？

☆1日目：事例検討／事例提供者

奈良市社協 福祉サービス支援室

室長 岡本香奈さん

☆2日目：ワークショップ／コーディネーター

大津市社協 地域福祉課 課長 山口浩次さん

### 第5分科会 在宅現場の視点から地域をみる

～個人の暮らしを出発点とした支援から見えてくるもの～

在宅ワーカーだから知っている個人の暮らしぶりや生の地域の姿があります。また、最も身近な支援者として生活に密接に関わっているからこそ感じているリアルな暮らしの課題があります。この分科会では、在宅ワーカーが感じている課題や当事者を支える在宅現場からの視点を語り合い、何を大事にして支援を行っているのかを確認し合いながら、個人の暮らしを出発点とした支援から見えてくるものを社協ワーカー同士で考えます。そして、在宅部門がもっている情報を社協組織内でどのように発信し、活かすのか、これからの地域づくりに向けて社協の総力戦を実現するための連携方策を探ります。

☆語り部 大和高田市社協

介護支援事業課長補佐 西川満子さん

大淀町社協 介護事業課訪問介護係

副主任 山中卓磨さん

☆聞き手 上牧町社協

藤岡育代さん

☆ゲスト 東近江市社協 在宅福祉課長 眞弓洋一さん

※介護事業担当職員さん大歓迎！！

### 第4分科会 中山間地域は先進地！

～“ない、ない”から打破！  
発見する・つながる・つくりだす～

中山間地域でも、昔からあった“人と人のつながり”を中心としたコミュニティ機能は低下し、福祉課題が変化してきています。また、社会資源が限られていることにより、課題解決の出口が見つかりにくくなっています。このような状況であなたはどのような視点で業務に取り組んでいますか？「資源がない」「人がいない」などを理由に大切なものを失いかけていませんか？

中山間地域で活動する団体、個人の方々のご意見をお聞きし、「中山間地域ならではの新たなつながりやしくみ」を参加者同士創り出しましょう！あなたの地域の暮らし、もう待たないです！



☆ゲスト

月ヶ瀬地区社会福祉協議会 会長 徳家眞さん

一般社団法人かわかみらいふ 事務局長 竹内満春さん

山添村集落支援員(コミュニティナース) 荏原優子さん

☆コーディネーター 奈良女子大学教授 寺岡伸悟さん

### 第6分科会 社協イズムの継承

～背中だけでは伝わらない“あなたの流儀”  
次の世代へ受け継ぐバトンについて語ろう～

長年にわたる社協の地域福祉実践の中には、地域を動かしてきたワーカーたちの流儀やこだわり、そして地域住民への熱い思い、いわゆる「社協イズム」が詰まっています。ただ、先人たちの背中を見てきた私たちは、それを上手に受け継いでこれたでしょうか。

この分科会では、マニュアルでは伝わらないそれぞれの「社協イズム」をどのような“バトン＝言葉”にして、次の世代へどのように継承していけばいいのかを探求します。そのバトンが受け継がれるとき、それは社協実践の蓄積と連続性を生み「地域の人々と向き合い、ともに考えていく時の道しるべ」になってくれるはず。さあ、バトンを渡したい方も受け取りたい方も、今こそ本気で継承について語り合いませんか！

☆パネラー

寝屋川市社協 生活支援課 課長 高橋俊行さん

下市町社協 前事務局長 上村陽子さん

奈良市社協 総務課企画経営係 係長 北野直紀さん

☆コーディネーター

奈良県社協 前坂良彦さん

※対象：中堅職員・ベテラン職員